学校番号	1005

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	２，３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

服飾・手芸に関する知識と技術を学習しましょう。
- 基本的な裁縫、刺しゅう、編み物、その他手芸に関する基礎的な知識、技法を学習し、それらの技法を活用して作品を製作しよう。
- 作品製作を通して、楽しさ、喜び、達成感等を味わい、学んだことを実生活の中で活用していきましょう。

２　学習の到達目標

手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・各種手芸に関心をち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	・各種手芸の技法や特徴を理解し、製作過程における課題や問題の解決を図り、思考を深めている。	・各種手芸の基礎的、基本的な技術を身につけ、それを活用し、作品をデザインし、オリジナル作品を製作する。	・各種手芸の種類や特徴、技法に関する基礎的、基本的な知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察（授業中の発言など） ・製作計画 ・実習記録表	・学習状況の観察（授業中の発言など） ・製作計画 ・実習記録表	・学習状況の観察（授業中の発言など） ・製作計画 ・実習記録表 ・実技テスト	・学習状況の観察（授業中の発言など） ・製作計画 ・実習記録表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	裁縫の基本	＊裁縫の基本 ・ピンクッション ＊検定 ・技術検定4級受検 (受験のための練習を含む)	○	○	○	○	a:裁縫の基本を学び、作品製作に関心を持つ。 b:製作過程で発生した課題や問題を解決するために試行錯誤することができる。 c:裁縫の基本技術を身につけている。 d:裁縫の基礎知識を身につけている。	・学習状況の観察(授業中の発言など) ・実習記録表 ・実技テスト
2学期	製作実習	＊作品製作 ・トートバック(刺繍付き) ・フェルトマスコット ・羊毛フェルト ・ミサンガ ・がま口財布 ・マフラー	○	○	○	○	a:作品製作に意欲的に取り組んでいる。 b:製作過程で発生した課題や問題の原因を考え、適切に解決することができる。 c:材料を選定し、作品製作の技術を身につけている。 d:製作手順のプリントを読み、製作方法が理解できた。	・学習状況の観察(授業中の発言など) ・実習記録表
3学期	製作実習	＊作品製作 ・ポーチ ・スマホケース ・テディベア	○	○	○	○	a:作品製作に意欲的に取り組んでいる。 b:製作過程で発生した課題や問題の原因を考え、適切に解決することができる。 c:材料を選定し、作品製作の技術を身につけている。 d:製作手順のプリントを読み、製作方法が理解できた。	・学習状況の観察(授業中の発言など) ・実習記録表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。